

平成29年度 新入生宿泊研修

4月10日と11日の2日間、男鹿観光ホテルを会場に新入生宿泊研修が行われました。

〔第1日目〕

○校長講話 ～能代高校生となった君たちに期待すること～

京久夫新校長より、「人として当たり前のこと」「すべての結果は考え方と熱意と能力のかけ算」「人生は一度きり」「苦労は自分の魂を磨く機会」「夢と志を持って」という5つのテーマについて、講話を頂きました。「汝、何のためにそこにありや」という鈴木健次郎先生の言葉を紹介し、「世界の動きや社会のニーズを敏感に察知し、どうしたら貢献できるのかを常に問ながら高校生活を送って欲しい」と、力強い激励がありました。



○学年主任講話

高橋学年主任からは、この春看護学校に入学した卒業生の代表挨拶や、本校校歌の四番にある「学びの道を究めよや」という歌詞の意味を紹介しながら、新入生全員に「何のために勉強するのか」という問いかけがありました。貴重な高校3年間の中で、自分なりの答えを見つけ出せるような意義深い高校生活を送って欲しいという期待と願いが伝わる講話でした。



○グループワーク

パーソナルコーチ平野順子氏のご指導のもと、自己紹介や共通点探し、グループ対抗の新聞紙タワー作成や漢字ビンゴゲームなど、さまざまな活動に取り組みました。初対面の級友とも積極的にコミュニケーションを図ることで、入学して3日目とは思えないほど和やかな雰囲気のもと、楽しそうに活動する生徒の姿が印象的でした。



○クラス別活動

各クラスごとの活動でした。クラス役員を決めたり、自己紹介をしたり、クラス目標を決めたり、雑談力を磨いたり……。グループワークの勢いそのままに、生徒たちが主導しながら活動していました。



○夕食風景

みんなで食べる郷土料理は格別です。



○自学自習

夜7時から10時過ぎまで、学習時間として大広間で一斉に自学自習に取り組みました。私語一つせず真剣に学習する生徒たちを見ながら、同じ環境で学ぶ仲間同士、切磋琢磨しながら向上していった欲しいと感じました。



〔第2日目〕

○ラジオ体操

気温4度という肌寒さの中、朝6時半から全員でラジオ体操をしました。お疲れモードの生徒の顔も一気に引き締まり、2日目の研修がスタートしました。



○学習オリエンテーション

国語・英語・数学の3教科について、授業展開や学習予定、予習復習の重要性や能代高校で学ぶ心構えについて、レクチャーがありました。50分×3時間の内容でしたが、能高生となった自覚をもっとも感じた瞬間であったと思います。



○閉講式

12人のクラス代表が、研修成果と今後の学校生活に臨む意気込みを語ってくれました。いよいよ来週から授業スタート。奮え松陵、我が健児！



学校さ帰ってからも しっかりやれよ！



※個人情報保護の目的で、画像を粗くしております。